

歯周治療後の口腔内を健康に維持してもらうためには？
歯科衛生士に必要な観察眼・知識・技術を学べる一冊！

デンタルハイパー 別冊

歯周治療における メインテナンス

—Supportive Periodontal Therapy—

伊藤公一・内山 茂・品田和美／編著

歯周治療終了後の歯周組織の健康を維持するためには、継続的なメインテナンスが不可欠です。けれども、「メインテナンスを続けていたけれど見逃していた」と後になってドキッとすることや、「あのと看落としていたために歯肉がよくなっていない……」と苦い思いをしたことはありませんか？

●歯周治療後のメインテナンスにおいて口腔内外の変化を見逃さず、口腔内を良好に維持していくために、歯科衛生士としてどんな知識や観察眼、技術をもつことが必要なのでしょうか。

●本別冊では、まず1章で基本となる歯周治療の知識と最新情報を整理し、2章で歯肉・歯・歯根面の構造と役割を確認、3章で歯肉縁上・縁下のプラークコントロールについて整理、4章では歯科衛生士が行う診査と評価の方法、さらに5章では実際に歯科衛生士が担当したメインテナンス症例をご紹介します。

●明日からの臨床のレベルアップに役立つヒントが満載の本別冊をぜひご活用ください！

B5判／140頁

オールカラー

定価3,150円

(本体3,000円＋税5%)

C O N T E N T S

1章 知識編：もう一度確認！ 歯周治療学

- ①歯周病とは？
- ②歯周病の原因
- ③口腔から全身へ—歯周病と全身のかかわり
- ④歯周治療の目的と流れ
- ⑤データにみるメインテナンスの効果
- ⑥メインテナンスからSPT
(Supportive Periodontal Therapy) へ

2章 知識編：見てわかる 歯肉・歯・歯根面の構造と役割

- ①歯肉の構造と役割
- ②プロケアによる歯肉への影響
- ③歯—エナメル質の構造と役割
- ④プロケアによるエナメル質への影響
- ⑤歯根面—セメント質の構造と役割
- ⑥プロケアによるセメント質への影響

3章 臨床編：SPTにおける歯肉縁上・縁下のプラークコントロール

- ①歯肉縁上のプラークコントロール
- ②歯肉縁下のプラークコントロール

4章 臨床編：歯科衛生士が行う診査と評価

- ①全身状態の確認
- ②プロービング
- ③歯肉の状態・性状を読む
- ④X線写真を読む
- ⑤プラークの付着状況を読む
- ⑥セルフケアの確認

5章 症例編：長期メインテナンス症例から見えるもの(全10症例)

- ①メインテナンスの有効性
- ②全身的な変化
- ③口腔内の変化

医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込1-7-10 TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633 <http://www.ishiyaku.co.jp/>